

今後に向けての学校の考え（学校関係者評価を受けて）

進学校として、凛々しく、優しくの教育理念の下に、確かな学力と豊かな心を持った生徒の育成を目指して努力をしているところである。学校関係者評価委員からは、設備の ICT 化による授業について、先生による創意、工夫への期待が表明される一方、書くことの希薄化への懸念も示された。また、授業評価の必要性や成績処理へのチェック体制等にも意見をいただいた。なお、中学においては、上級生の後輩指導の有効性や卒業生から話を聞くことの重要性、複数説明会への参加の必要性等について意見をいただくと共に、高校生と同様、SNS や LINE について学校としての考え方や取り組みについて、より一層検討することが求められるとする意見もいただいたところであり、今後、これらについて十分勘案し、文部両道の進学校としての地位を確保していきたい。